

# 仏教語漢文はどのような点に留意して訓むのか

萩原 義雄

## 仏教漢語文について

仏教漢語文経典とは、「漢訳藏経」のことであり、仏教経典は梵語・巴利語で記載されてあったものを長い歳月をかけて中国人が翻訳してきた経典すなわち、「翻訳経典」を云う。

この経典類は、膨大な数量に及ぶだけではなく、五世紀から七世紀におけるインド仏教最盛期の資料をもとに翻訳がなされてきたことが重要な意義を有している。これらの経典類は、現在、大正新修大藏経に凡て収録され、日本伝来の経典類が実に良き漢訳経典類を今日に伝えていることを知るのである。たとえ、漢訳経典に誤訳があったとして、それらがどのように位置づけられてきたのかを知る意味でも貴いことばの宝庫なのである。

たとえば、禅家語録『臨濟録』（岩波文庫）に、

道流、莫<sub>レ</sub>取<sub>次</sub>被<sub>レ</sub>諸方老師印<sub>ニ</sub>破<sub>セ</sub>面門<sub>ヲ</sub>、道<sub>ヲ</sub>我<sub>レ</sub>解<sub>シ</sub>禪<sub>ヲ</sub>解<sub>スト</sub>上<sub>レ</sub>道<sub>ヲ</sub>。

における「取次」をどう読むかにまで及ぶことになるからである。因みに、本学禅籍抄物『臨濟録抄』には、「取次トハアマタ義アリ。容易、又ミタリニ、又次第々々ト云ソ。言ハ諸方ノ老師ナントカ、仏法ヲ容易ニ思テ、面門ヲ印破ストテ、諸人ノ面門ヲ、印破シテ、諸法ノ上テ、チツトモマカワス、禪ヲ解シ、道ヲ解スト云」（127頁）と記述する。鎌倉時代の観智院本『類聚

名義抄』では、「取次ミダリカハシ」（名義抄佛中2①）「取次ミダリカハシ」（僧中46⑥）「取次ミダリカハシ」（僧中52②）と三箇所「みだりがはし」の訓を示している。また、江戸時代の読本『南総里見八犬伝』・四・四〇回には、「言の後先取次しりくちどろなり」とあり、「取次」に「シドロ」の訓が付けられている。また、『日本国語大辞典』第二版では、見出し語「シュジ【取次】」に「②きままなこと。随意。また、ついでのまま。\*明極楚俊遺稿（14C中か）和喜舟到岸「白沙路上無青草。緩歩何妨取次行」\*随筆・秉燭譚（一七二九）三「取次と云こと明ならず。古来しどろもどろと訓ず。〈略〉彼此よせ合てみれば、今人の勝手次第と云がごとし」\*白居易・病仮中龐少尹攜魚酒相過詩「間停茶碗従容語、酔把花枝取次吟」と記載する。こうした日本語資料への訓読に大きな影響を及ぼしていると言ふことをここで述べておきたい。

また、「而」という接辞だが、これも経典類にあつては、屢散見する文字であろう。たとえば、『妙法蓮華経』には、

1 是時天雨曼陀羅華・摩訶曼陀羅華・曼殊沙華・摩訶曼殊沙華。而散仏上及諸大衆。普仏世界六種震動。「○このときに、天より曼陀羅華・摩訶曼陀羅華・曼殊沙華・摩訶曼殊沙華ふりて、ほとけのみうへ、およびもろもろの大衆に散じ、あまねくほとけの世界、六種に震動す。」  
2 以何因縁而有此瑞。「○なにの因縁をもてか、この瑞ある。」

などとあり、読経で音読する分には「ニ」と読むので其の用法を見逃してしまう。この「而」なる接辞を音調を調えるために用いているとすれば、この取込みはあつたり無かつたりである。であるからして、「主語＋「而」＋述語」を有する破格用法が見られるのも経典類の特徴とも言える。観智院本『類聚名義抄』には、「而 加之反、シカモ、ナムタチ、シテノノコル、コト

シ、シカリノ禾<sup>レ</sup>ニ〔佛上75④〕とあつて、和語六種、表記例八語を収載している。

### 經典類の漢字語一覧及び『名義抄』和訓との対比

- 【安】〔疑問詞〕イヅクニ、イヅクンゾ。↓イヅクソ〔名義抄佛下末28・法下50〕
- 【暗地】〔副詞語尾〕コツソリト。↓〔名義抄×〕
- 【以】〔前置詞〕モツテ。モテ。↓モテ爪〔名義抄佛上4〕モテスト云〔名義抄佛上5〕。
- 【以故】〔接統詞〕モツテノユヘニ。
- 【以く故】〔対応語〕モツテノユヘニ。
- 【以是】〔接統詞〕コレヲモツテ。
- 【已】〔副詞〕スデニ。↓スデニ〔名義抄佛下末13〕
- 【依く故】〔対応語・接統詞〕ユヘニ：ヨツテ。
- 【為】〔前置詞〕タメニ。
- 【為】〔動詞〕ナス。ス。↓〔名義抄佛下末29〕
- 【為く為】〔疑問構文〕セン：セン。
- 【為是く為是】〔疑問構文〕コレ：ナリトセン。
- 【為當く為當】〔疑問構文〕マサニ：ナリトセン。
- 【為當く為復】〔疑問構文〕マサニ：ナリトセン， マタ：ナリトセン。
- 【為復く為當】〔疑問構文〕マタ：ナリトセン， マサニ：ナリトセン。

- 【為復く為復】〔疑問構文〕マタ：ナリトセン， マタ：ナリトセン。
- 【一】〔副詞〕ヒトヘニ。↓〔名義抄×〕
- 【一時】〔副詞〕イツシ、アルトキ。↓〔名義抄×〕
- 【一旦】〔副詞〕アルトキ、アルヒ。↓〔名義抄×〕
- 【一朝】〔副詞〕アルトキ、アルヒ。↓〔名義抄×〕
- 【一片】〔副詞〕ヒトツ、イチメンニ。
- 【恁麼】〔副詞〕インモ、ソノヨウニ。
- 【于】〔前置詞〕ヲ、ニ。
- 【云】〔動詞〕イフ。↓〔名義抄法下24〕
- 【云何】〔疑問詞〕ウンガ、イカン。↓イカム〔名義抄佛上8〕
- 【焉】〔疑問詞〕イヅレ、イヅコ。↓イヅクソ〔名義抄僧下104・佛上76「イツクンソ、イカムソ」
- 【惡】〔疑問詞〕イヅクニ。↓イヅクソ〔名義抄法中75・法中76「イツクソ、イカムソ」
- 【於】〔前置詞〕ヲ、ニ、…。
- 【於意云何】〔連語〕イカニオイテイカン、オイウンガ。
- 【於何】〔疑問詞〕ナニヲカ。↓〔名義抄×〕
- 【於是】〔接統詞〕ココニオイテ。
- 【應】〔助動詞〕マサニ：ベシ。↓〔名義抄×〕
- 【應是】〔副詞〕スベテ。
- 【應時】〔副詞〕タダチニ。
- 【應當】〔助動詞〕マサニ：ベシ。

【下】〔補助動詞〕**タマフ**。↓〔名義抄佛上74〕  
 【可】〔助動詞〕：**ベシ**。↓〔名義抄佛下76〕  
 【何】〔疑問詞〕ナニ、ナンゾヤ、イツクニ。↓ナソモ、ナソヤ、イツクソ、イカニ、〔名義佛上八〕。  
 【何謂】〔疑問詞〕ナンノイヒゾヤ。↓〔名義抄×〕  
 【何以】〔疑問詞〕ナニヲモツテカ、ナンスレゾ。↓タレヲモテカ、ナニヲモテカ〔名義抄佛上8〕  
 【何以故】〔疑問詞〕ナニヲモツテノユヘニ。↓何ヲ以ノ故ニ〔名義抄佛上8⑥〕  
 【何為】〔疑問詞〕ナントシテカ、ナンスレゾ。↓同上(ナスレン)、イカムカセン〔名義抄佛上8⑥〕  
 【何處】〔疑問詞〕イツレノトコロ、ドコ。  
 【何時】〔疑問詞〕イツレノトキ、イツ。  
 【何故】〔疑問詞〕ナニガユヘ、ナゼ。  
 【何言】〔疑問詞〕ナントイフ。  
 【何遽】〔疑問詞〕ナンゾ。  
 【何渠】〔疑問詞〕ナンゾ。  
 【何居】〔疑問詞〕ナンゾ。  
 【我】〔人称代名詞〕ワレ。↓〔名義抄僧中42〕  
 【我聞如是】〔句〕ワレキクコト：カクノゴトシ。  
 【皆】〔副詞〕ミナ、スベテ。〔名義抄佛中100〕  
 【偕】〔副詞〕トモニ。  
 【豈く乎】〔反語構文〕アニ：ヤ。  
 【加之】〔接統詞〕シカノミナラズ。↓シカノミナラス〔名義抄僧上84〕

【其】〔代名詞〕ソノ、ゴ。  
 【幾】〔疑問詞〕イク。  
 【幾許】〔疑問詞〕イクバク。↓イクハクハカリ〔名義抄法上60、僧中40〕  
 【幾所】〔疑問詞〕イクバク。↓〔名義抄×〕  
 【及】〔接統詞〕オヨビ。↓オヨブ〔名義抄僧中52〕**ト**。↓〔名義抄×〕  
 【給】〔補助動詞〕**タマフ**。↓〔名義抄法中134〕  
 【究竟】〔仏語名詞〕クキヤウ。↓〔名義抄×〕  
 【許】〔不定詞〕コ。**バカリ**。↓〔名義抄法上61〕  
 【教】〔助動詞〕：**シム**。↓〔名義抄佛上31〕  
 【共其】〔前置詞句〕ソレト、モニ。  
 【業已】〔副詞〕ステニ。↓〔名義抄×〕  
 【俱】〔副詞〕トモニ。トトモナリキ。  
 【奚】〔疑問詞〕ナニ。  
 【歟】〔疑問助詞〕**カ**。  
 【遣】〔助動詞〕：**シム**。↓〔名義抄佛上56〕  
 【言】〔動詞〕**イフ**。↓〔名義抄法上47〕  
 【故】〔接統詞〕ノユヘニ。**ユヘニ**。↓ユヘ〔名義抄僧中54〕  
 【箇】〔助數詞〕コ。〔代名詞〕コノ。  
 【乎】〔語氣助詞〕カ、ヤ、カナ。  
 【昏昏地】〔副詞語尾〕コンコンチ、ボンヤリト。

**【坐】**〔補助動詞〕**イマス**。↓〔名義抄×〕  
**【哉】**〔語氣助詞〕カナ、ヤ。↓カナ〔名義抄僧中41〕  
**【在】**〔動詞〕**アリ**。↓〔名義抄佛上84〕  
**【思】**〔動詞〕**オモフ**。↓〔名義抄法中41〕  
**【之】**〔代名詞〕コノ。↓コノ〔名義抄佛上60〕〔法下42〕  
**【之乎】**〔合字・代名詞〕カ、ヤ。↓〔名義抄×〕  
**【此】**〔代名詞〕コ、コレ。↓コ、ニ〔名義抄僧下69〕、コレ〔名義抄法上99〕  
**【斯】**〔代名詞〕コレ。↓コレ〔名義抄僧中54〕  
**【使】**〔助動詞〕**シム**。↓〔名義抄佛上31〕  
**【而】**〔接統詞〕シカウシテ、シカルニ、シカモ。**テ**。↓テ〔名義抄×〕  
**【而】**〔代名詞〕ナンジ。↓ナムタチ〔名義抄佛上75〕  
**【耳】**〔終助詞〕**ノミ**。↓〔名義抄×〕  
**【時】**〔副詞〕トキニ。↓〔名詞〕**トキ**。〔名義抄佛中86〕  
**【事】**〔形式名詞〕**コト**。↓〔名義抄佛上80〕  
**【爾・尔】**〔代名詞〕ソノ。↓ソノ〔名義抄僧中3〕  
**【爾後】**〔代名詞〕ソノ、チ。  
**【爾日】**〔代名詞〕ソノヒ。  
**【爾來】**〔副詞〕ジライ。  
**【所】**〔助動詞〕**ラル**。↓〔名義抄×〕  
**【成】**〔動詞〕**ナル**。↓〔名義抄×〕

**【食】**〔動詞〕クラフ、クフ。  
**【只者一箇】**〔連語〕タゞコノイツコ。  
**【者】**〔代名詞〕コレ、コノ、ハ。〔連語〕**トイへリ**。↓〔名義抄×〕  
**【這箇】**〔代名詞〕コレ。  
**【若】**〔代名詞〕ナンヂ。↓ナムチ〔名義抄僧上47〕  
**【若】**〔連語〕カクノゴトキ。  
**【孰】**〔疑問詞〕イツレカ。  
**【從其】**〔前置詞句〕ソレヨリ。  
**【就中】**〔副詞〕ナカンヅク。↓ナカムツクニ〔名義抄佛上79〕  
**【取次】**〔副詞〕テガルニ。↓ミダリカハシ〔名義抄佛中2、僧中46、僧中52〕  
**【什麼】**〔疑問詞〕ソモ、ナニ、イツレ、シエンモ。  
**【所】**〔形式名詞〕**トコロ**。↓〔名義抄法下93〕  
**【所謂】**〔連体詞〕イハユル。↓イハユル〔名義抄法上49〕  
**【所以】**〔訓読〕ユエン。  
**【所以者何】**〔連語〕ユエンノモノハイカン。  
**【諸】**〔代名詞〕カ、ヤ。  
**【女】**〔代名詞〕ナンヂ。↓ナムヂ〔名義抄佛中6〕  
**【汝】**〔代名詞〕ナンヂ。↓ナムヂノ〔名義抄法上42〕  
**【照見】**〔複合動詞〕シヤウケン。  
**【稍稍】**〔副詞〕ヤ、。

- 【如何】〔疑問詞〕イカン。↓イカン〔名義抄法中 36〕
- 【諸仁者】〔連語〕モロ／＼ノニンジヤ。
- 【諸餘】〔連語〕コノホカノ。
- 【申】〔補助動詞〕マウス。↓〔名義抄佛上 80〕
- 【人】〔名詞〕ヒト。↓〔名義抄佛上 1〕
- 【甚】〔副詞〕ハナハダ。↓ハナハタシ〔名義抄僧下 82〕
- 【甚】〔疑問詞〕ナニ。
- 【甚没】〔疑問詞〕ナニ。
- 【甚摩】〔疑問詞〕ナニ。
- 【甚麼】〔疑問詞〕ナニ、シエンモ。
- 【甚謨】〔疑問詞〕ナニ。
- 【甚物】〔疑問詞〕ナニ。
- 【須】〔助動詞〕スベカラク。↓スヘカラク〔名義抄法上 37〕、  
クイベシ。↓スベシ
- 【須】〔接統詞〕：トイヘドモ。
- 【須】〔動詞〕モチフ。↓モチ井ル〔名義抄法上 37〕
- 【誰】〔疑問詞〕タレ。
- 【誰：乎】〔疑問構文〕タレヲ：ヤ。
- 【雖】〔接統詞〕：トイヘドモ。トモ。↓イヘドモ〔名義抄僧中 134〕
- 【此間】〔代名詞〕コ、。
- 【是】〔代名詞〕コレ。

- 【是以】〔接統詞〕コ、ヲモツテ。
- 【是故】〔接統詞〕カクノユヘニ。
- 【是く是く】〔疑問構文〕：カ、ソレトモ：カ。
- 【是く還是く】〔疑問構文〕：カ、ソレトモ：カ。
- 【是勿】〔疑問詞〕ナニ。
- 【是没】〔疑問詞〕ナニ。
- 【説】〔動詞〕トク。
- 【説了也】〔動詞完了〕トキオハリタリ。
- 【宣】〔補助動詞〕ノタマフ。↓ノタブ、ノタマハク〔名義抄法下 49〕
- 【乍】〔接助詞〕ツツ。↓×〔名義抄佛上 81〕
- 【怎】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ、ドウシテ、ゼン。
- 【怎生】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ。
- 【怎麼】〔疑問詞〕ドウシテ、ドノヨウナ、ドンナ、ゼンモ。
- 【怎麼樣】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ゼンモヤン。
- 【總】〔副詞〕スベテ。
- 【即】〔接統詞〕スナハチ。
- 【即是】〔繫辭〕スナハチコレ。
- 【則】〔接統詞〕スナハチ。↓〔名義抄僧上 94〕
- 【作物】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ。
- 【作没】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ。

【作生】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ、ドウシテ。  
 【作勿】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ。  
 【作生麼】〔疑問詞〕ドノヨウナ、ドンナ、ドウシテ。  
 【他】〔代名詞〕カレ。  
 【多少】〔疑問詞〕ドノクライ。  
 【地】〔助詞〕チ。  
 【輒】〔接統詞〕スナハチ。↓スナハチ〔名義抄僧中 93〕  
 【这么】〔副詞〕チヨオモ。  
 【底】〔助詞〕：ノ。  
 【的】〔助詞〕：ノ。  
 【都】〔動詞〕ミヤコス。  
 【都】〔副詞〕スベテ。↓スベテ〔名義抄法中 36〕  
 【都不】〔副詞〕スベテ：ナラズ。  
 【都無】〔副詞〕スベテ：ナシ。  
 【都來】〔副詞〕スベテ。↓〔名義抄×〕  
 【度】〔動詞〕スクフ。↓〔名義抄×〕  
 【當】〔助動詞〕マサニ：ベシ。  
 【當時】〔副詞〕タゞチニ。↓〔名義抄×〕  
 【秀】〔動詞〕トホル。↓〔名義抄×〕  
 【秀得過】〔動詞〕トホリスグルヲウ。

【獨】〔副詞〕タゞ。↓〔名義抄×〕  
 【奈】〔疑問詞〕イカンセン。↓イカムソ〔名義抄佛下末 34〕  
 【奈何】〔疑問詞〕イカンセン。↓イカン〔名義抄佛上 8〕  
 【那】〔代名詞〕ナア。↓ナンソ〔名義抄法中 36〕  
 【那箇】〔疑問詞〕ドレ、ナアコ。  
 【呢】〔疑問助詞〕  
 【乃】〔代名詞〕ナンヂ。↓〔名義抄僧下 108〕  
 【乃】〔接統詞〕スナハチ。↓スナハチ〔名義抄僧下 108〕  
 【乃至】〔接統詞〕ナイシ。↓〔名義抄×〕  
 【爾】〔代名詞〕ナンヂ、コレ、ソレ。  
 【爾時】〔代名詞〕ソノトキ。  
 【膩】〔名詞〕アブラミ。↓アフラコシ〔名義抄佛中 114〕  
 【膩】〔動詞〕ヒツツク。↓×「ナメル」〔名義抄佛中 114〕  
 【聾】〔助詞〕ニ、ニイ、ゾ。  
 【如】〔助動詞〕ゴトシ。↓〔名義抄佛中 6〕  
 【如何】〔疑問詞〕イカン。↓イカン〔名義抄法中 36〕  
 【如是】〔代名詞〕カクノゴトク、コノヨウニ。  
 【如是我聞】〔述語〕カクノゴトクワレキケリ。  
 【如是く則】〔假定条件構文〕カクノゴトクンバ：スナハチ。  
 【汝等】〔代名詞〕ナンダチ、ナンヂラ。↓ナムタチ〔名義抄法上 43〕

【上】〔補助動詞〕マツル。↓〔名義抄×〕  
【人】〔副詞〕人ノゴトク。  
【仁】〔代名詞〕ニン。↓ナムヂ〔名義抄佛上2〕  
【仁者】〔代名詞〕ニンシヤ。  
【仁等】〔代名詞〕ニンラ。  
【仁輩】〔代名詞〕ニンハイ。  
【涅槃】〔仏語名詞〕ネハン。↓〔名義抄×〕  
【念】〔動詞〕オモフ。↓〔名義抄僧中4〕  
【能除】〔副詞助詞〕ヨクノゾキ。  
【能除】〔可能動〕ノゾクコトアタフ。  
【叵】〔助動詞〕：ベカラズ。↓ベカラズ〔名義抄佛上64〕  
【頗】〔助動詞〕：ベカラズ。↓〔名義抄×〕  
【彼】〔代名詞〕カレ、ソノ。  
【否】〔疑問助詞〕イナヤ。  
【鄙人】〔代名詞〕ヒジン。  
【白】〔動詞〕イフ。マウス↓〔名義抄佛中103〕  
【白言】〔動詞〕イフ。↓〔名義抄×〕  
【白佛言】〔動詞〕ホトケニマウシテイフ。  
【繆頼】〔六朝俗語〕アテニナラヌモノヲウラム。  
【貧道】〔代名詞〕ソレガシ。↓〔名義抄×〕

【夫】〔代名詞〕カレ、ソノ。  
【不】〔疑問助詞〕イナヤ。  
【怖畏】〔複合動詞〕フィスル。「怖畏軍陣中」『觀世音普門品』  
【夫子】〔代名詞〕アナタ。  
【不可】〔助動詞〕ベカラズ。  
【不是】〔繫辭否定〕コレ：ニアラズ。  
【物】〔形式名詞〕モノ。↓〔名義抄佛下末6〕  
【別】〔連語〕ベツノ。  
【別餘】〔連語〕ベツノ。  
【邊】〔場所接尾辭〕：アタリ。  
【便即】〔接統詞〕スナハチ。  
【便乃】〔接統詞〕スナハチ。  
【方】〔形式名詞〕カタ。↓〔名義抄僧中30〕  
【奉】〔補助動詞〕マツル。↓タテマツル〔名義抄佛下末24〕  
【某甲】〔代名詞〕ソレガシ。↓ソレカシ〔名義抄佛中107〕  
【僕】〔代名詞〕ワレ。↓ワレ〔名義抄佛上4〕  
【菩提薩埵】〔仏語名詞〕ボダイサツタ。  
【没】〔疑問詞〕ナニ。↓〔名義抄×〕  
【麼】〔疑問助詞〕ヤ。モ。  
【摩】〔疑問助詞〕：ナシヤ。

【磨】〔疑問助詞〕…ナシヤ。  
 【嗎】〔疑問助詞〕…ナシヤ。…カ、マ。  
 【く無】〔疑問助詞〕…ナシヤ。  
 【無上咒】〔仏語名詞〕。  
 【無等等咒】〔仏語名詞〕。  
 【無明】〔仏語名詞〕。  
 【命】〔補助動詞〕**ノタマフ**。↓〔名義抄僧中3〕  
 【滅除】〔複合動詞〕。  
 【く謨】〔疑問詞語尾〕ナンノ。  
 【く麼】〔疑問助詞〕…ヤ。  
 【聞成就<sup>モンシヤウシユ</sup>】〔仏語名詞〕。  
 【也】〔助詞〕ヤ。**ナリ**。↓〔名義抄×〕  
 【く也無】〔疑問助詞〕…ヤイナヤ。  
 【邪】〔疑問助詞〕…カ、ヤ。  
 【耶】〔疑問助詞〕…カ、ヤ。  
 【亦復】〔副詞〕マタ。  
 【亦復如是】〔連語〕マタカクノゴトシ。  
 【又】〔副詞〕**マタ**。↓〔名義抄僧中50〕  
 【有】〔動詞〕**アリ**。↓〔名義抄佛中138〕  
 【與】〔接統詞〕ト。

【與】〔動詞〕アタヘル、アヅカル。↓アヅカル〔名義抄佛下25〕  
 【與】〔名詞〕トモガラ。↓〔名義抄×〕  
 【與】〔疑問助詞〕カ、ヤ。  
 【與】〔前置詞〕ト、トモニ。↓トモニ〔名義抄佛下末25〕  
 【與く俱】〔前置詞〕…トトモニ。  
 【與其】〔前置詞〕ソレガタメニ。↓〔名義抄×〕  
 【余】〔代名詞〕ワレ。↓禾レ〔名義抄僧中3〕  
 【予】〔代名詞〕ワレ。↓禾レ〔名義抄僧中37〕  
 【餘】〔代名詞〕ホカノ。↓〔名義抄×〕  
 【令】〔助動詞〕…**シム**。↓〔名義抄×〕  
 【了】〔動詞〕ヲハンヌ。  
 【曰】〔動詞〕イフ。イハク。**ノタマハク**。↓イフ、イハク〔名義抄佛中86〕

◆ 小林芳規博士紹介の「平安初期訓点資料」

◆ フコト点のない資料

両毘奈耶。持人菩薩經・醍醐寺藏梵網經・二荒山碑文・九條本文選卷二九裏書・

◆ 特殊點

白鶴美術館藏大般涅槃經集解卷六八・同上卷十一・願經四分律古點・金剛般若經讚述嘉祥四年點

◆ 第一群點

成實論天長五年點・飯室切金光明最勝王經註釋・妙法蓮華經方便品古點・百論釋論承和八年點・大乘掌珍論承和嘉祥點・中觀論古點・金剛般若經讚述仁和元年點

◆第二群點

東大寺諷誦文・西大寺本金光明最勝王經古點・觀弥勒上生經贊白點

◆第三群點

唐招提寺藏金光明最勝王經古點・四分律行事鈔古點・妙法蓮華經化城喻品古點・百論天安二年點・地藏十輪經元慶七年點

◆第四群點

觀弥勒上生經贊朱點・金光明最勝王經註釋一本

《ことばの實際》小林芳規博士「上代における書記用漢字の訓の体系」〔國語と國文学〕號所収〕

【令】一は未信の者人を信命むる、々不退せるの故に〔山田本觀弥勒上生經贊平安初期朱點〕

【如】雲雨の如シテ説クレ法ヲを感スル故ニ〔山田本觀弥勒上生經贊平安初期朱點〕

【而】釋迦ノ北ニ首ヲ右ニ脅ニ枕ニ而シテ手ヲ入ル而シテ滅ス〔山田本觀弥勒上生經贊平安初期白點〕

悲絶レ緒ヲ分ク莫ク承ル〔宗絶而シテは裏書〕〔九條本文選卷第二十九〕

【乍】曾テ寐ル寐ル分ク弗レ夢ム〔佐每起乍〕〔九條本文選卷第二十九〕

【雖】声ハ有トモ止レ分ク哀ハ無ク終ル是レ乎乎非乎〔雖〕〔加母〕は裏書〕〔九條本文選卷第二十九〕

【耳】我ハ如シト耳ヲ聞ク鳥ノ〔百論釋論承和八年點〕

【及】或ハ有二六五四三二一種一〔及〕〔片仮名は後世の墨仮名〕〔大般涅槃經集解卷六十七、平安期白點〕

【許】又天應元年四月上旬更事 攀涉 〔二荒山碑文平安初期點〕

【申】我モ當ニ隨ヒ喜ビ〔西大寺本金光明最勝王經平安初期點卷一 10頁〕

【坐】法王 无レ上ノ尊 〔山田本妙法蓮華經方便品平安初期點〕

【念】我ニ當ニ以テレ不レ調至ル死ニ〔成實論卷十五、天長五年點〕

【云】表ス二分ノ身ヲ十方ニ處々導リ利ヲ〔山田本觀弥勒上生經贊平安初期白點〕

【物】常ニ得ル二人ノ天ニ共ニ瞻仰ルコト〔西大寺本金光明最勝王經平安初期點卷二 42頁〕

【所】一者於二十方世界一切の如來ノ所ニ至ル心ヲ以テ親近シテ説ク一切の罪ヲ〔西大寺本金光明最勝王經平安初期點卷三 47頁〕

【以】一者於二十方世界一切の如來ノ所ニ至ル心ヲ以テ親近シテ説ク一切の罪ヲ〔西大寺本金光明最勝王經平安初期點卷三 47頁〕

【使】又經ノ中ニ説ク身見斷ス時ニ諸使俱斷ス〔成實論卷十五、天長五年點〕  
乃至四海ニ所有ル土地ヲも〔亦〕肥〔江〕濃ヒ田疇ヲも沃ヒ壤キ常ノ日ヨリ倍勝シテアラシ使ヘリ

【教】呪師イ其ヲ教テ弘誓ノ願ヲ發ス〔サシ〕メヨ 〔西大寺本金光明最勝王經古點〕  
聽サレ作ル若シ自ラ若シ教ヲ人ヲ作ラシメヨ 〔小川本願經四分律古點乙卷 77頁〕

【遣】不レ遣ニ餘説ニ〔法華經玄贊平安中期點〕  
曾レ未レ聞レ遣メ行レ燒レ指ヲ亦不レ見レ令ニ使ヤカ焚レ身ヲ〔南海寄歸内法傳卷四平安後期點〕